

授業科目	地域と暮らし	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1年次後期	1単位	講義	15時間
到達目標	1. 地域・在宅看護論を学ぶ背景や意義・看護の対象を理解する。					講師
	2. 人々が地域で暮らすということを理解する。 3. 支えあって生きることの大切さに気づける。 4. 地域の生活環境が健康に与える影響を理解し、暮らしの危機の備えについて考える。					専任教員
授業計画						
1～3回	1. レディネステスト 2. 地域・在宅看護論を学ぶ背景や意義を理解する。 3. 地域・在宅看護の対象を理解する。					
4回	「暮らす」ということはどういうことかを考える。 *事前学習：各自が身近な人にインタビューしたものを小グループでGW、発表					
5回	暮らしの基盤としての地域の意義を学ぶ。 1)自分の暮らす地域や地域で暮らす人々を地域特性やニードなどに基づき考える。 ・地域特性：地域の生活環境(文化的環境・社会的環境・自然環境)の視点 2)地域の生活環境が健康に与える影響を考える。 *小グループでGW、発表					
6回	支えあって生きることの大切さを学ぶ。 ・個人ワーク、GW、「地域の暮らしを支える互助・自助」DVD視聴、レポート					
7回	暮らしの危機の備えについて学習し、災害発生時に自分たちは何をするのか考える。 ・各家庭、学校や病院、自分たちが暮らす地域の特性などからの備えについて小グループでのGW、発表					
8回	まとめ、確認テスト					
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験(100%)					
教科書	系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院					
参考書	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア					
備考	1.人間関係論、生活科学、基礎看護学目的・対象論の講義内容の復習をすること。 2.教科書の序章『地域の中での暮らしと健康・看護』を熟読して臨むこと。 3.事前・事後課題を教科書・講義内容・配布資料より予習・復習をすること。 4.個人ワーク・グループワークでの課題学習に取り組み、発表準備に備えること。					